

西伯・日野郡の取組

1 研究について

西伯郡・日野郡では、県研究主題「ともに学び 未来を創る 鳥取の体育～運動・保健の楽しさに浸り 豊かに関わり合いながら 課題を追求する子供～」と同じテーマで、新たな3つの視点と照らし合わせながら今年度の研究を進めている。子供一人一人にとっての個別最適な学びと多様な仲間との協働的な学びの一体的な充実を図ることが、令和5年度第61回中・四国小学校体育研究大会（鳥取大会）における本研究会で課題として挙げられた。運動が得意、苦手に関係なく、他者との学び合いを通して、全員ができた喜びを味わい、子供自らが学びをより深めていくために、「一人一人が主体的に行う個別最適な学びを効果的に取り入れることにより、仲間と質の高い課題解決（協働的な学び）を実現することができる授業づくり」を目指している。体育部員全員が「陸上運動」、「保健」の2つの領域を中心に実践を行い、年度末の研究集録にまとめる。

2 研究の視点

① 運動・保健の楽しさに浸るために（新視点1：誰もがアクセスできる）＝指導の個別化

- ・運動の特性に触れた課題解決的な学習（単元前半は自分たちで考えた動き、後半は仲間と動きのポイントをまとめ、自分が解決したい課題を選択し、挑戦するなど）
- ・ルールやマナーの遵守、フェアプレイ・簡易化されたゲームによる「易しい体育」の実現
- ・運動のコツを見付ける場の設定（スポーツオノマトペ）・基礎的・感覚的な動きを身に付ける運動（類似の運動アナログン）・中心的な課題に気付く問いの工夫

② 豊かに関わり合うために新視点2：あつまり、ともに、つながる）＝協働的な学び

- ・「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方が分かる授業・「楽しさ」の散りばめ
- ・単元を通して行う小集団による学びのサイクル（運動技能が異なるペアやトリオ、兄弟チーム等）
- ・「わたしたちの体育」「わたしたちの保健」の活用・場の設定、教具の開発や工夫
- ・一単位時間の流れの明確化、単元のゴールイメージ
- ・デジタルとアナログのハイブリッド化（教科書とICTの活用）

③ 課題を追求する児童を育むために（新視点3：つくる/はぐくむ）＝学習の個性化

- ・「よい動きを共有する時間」から「学びを価値付ける時間」へ・ルールづくりの工夫
- ・「伝え合い活動」の展開（言語活動の充実）・「学びを価値付ける時間」のさらなる充実
- ・「振り返り」の充実（掲示物、振り返り板の工夫、アンケートの活用、分析）
- ・養護教諭、地域、学校医、専門的な視点をもつ有識者との連携（課題の明確化）

3 具体的な取組

- ・西伯・日野郡小学校研究会 総会・専門部会 リモート（5月7日）
- ・第1回西伯・日野郡小学校研究会体育部会 理事会・研究推進委員会（6月13日）
- ・西日合同小研体育部夏季研修会 講師：福田一隆先生（大山中学校）（8月2日）
- ・鳥取県小学校体育研究会夏季研修会への参加（8月8日）
- ・第62回中・四国小学校体育研究大会（愛媛大会）への参加（10月25日）
- ・第2回西日合同小学校研究会体育部会 指導案検討会（10月29日）
- ・西日合同小研体育部授業研究会 南部町立西伯小学校 岩崎 史紘 教諭（11月18日）
- ・第3回西伯郡小学校研究会体育部会 理事会・研究推進委員会 研究収録の作成、刊行（3月）

4 来年度に向けて

今年度は、陸上運動領域と保健領域の2グループで研究に取り組んだ。南部町立西伯小学校、岩崎史紘教諭による5年走り幅跳び、陸上運動（高）の授業研究会では、体育保健課の綱本大介指導主事に一人一人が仲間と共に体を動かすことが楽しいと感じられるようにするための手立てをご示唆いただいた。一人一人が主体的に行う個別最適な学びを効果的に取り入れた、仲間と質の高い課題解決（協働的な学び）の実現に向け、更なる研究の深まりを目指したい。